481

(1)

前のコンデンサの静電容量Cは、

$$C = \frac{\epsilon_0 S}{d} \qquad \cdots ($$

後のコンデンサは、

プラスチック板部分と、空気部分を分けて考える。

それぞれの静電容量を C_1 , C_2 とすると、

$$C_1 = \frac{\epsilon_r \epsilon_0 S}{t}$$
 , $C_2 = \frac{\epsilon_0 S}{d + d' - t}$...(2)

これはコンデンサの直列接続として考えられるので、

$$\frac{1}{c} = \frac{1}{c_1} + \frac{1}{c_2}$$

…③(直列の合成容量の式)

①,②,③式より、

$$\frac{d}{\epsilon_0 S} = \frac{d + d' - t}{\epsilon_0 S} + \frac{t}{\epsilon_r \epsilon_0 S}$$

$$d = d + d' - t + \frac{t}{\epsilon_r}$$

$$\therefore \epsilon_r = \frac{t}{t - d'} \qquad \cdots (4)$$

(2)

④式に、

$$t = 4 \times 10^{-3} m$$
 , $d' = 2 \times 10^{-3} m$

を代入して、

$$\epsilon_r = \frac{4 \times 10^{-3}}{4 \times 10^{-3} - 2 \times 10^{-3}}$$

= 2.0